



翔

2011 Jun

No.210

百万石蝶談会

2009年石川県のアサギマダラマーキング概要

松 井 正 人

海岸での観察は5月16日に始まり、5月23日には初めて長崎県五島列島からの飛来が観察され大きな刺激となった。海岸への飛来が最も多い珠洲市では、チャーターされた高速船を利用して飯田港から佐渡島へ調査に出かけるなど、アサギマダラの虜になった人達によって熱心な調査が行われ、大分県姫島のマーク個体が3頭観察されたほか、狼煙でのマーク個体が長野県松本市で再観察された。また、能美市の海岸でマークされた個体が、金沢市の山中で再観察された。

山での観察は、宝達志水町宝達山、金沢市医王山、白山市荒谷、加賀市刈安山を中心に行われた。より観察し易いようにと、訪花植物の植栽や車道や歩道沿いの草刈りなどが行われたが、アサギマダラの飛来数が極端に少なく、大勢のメンバーが毎日のように通っても、マーク数は前年の15%程度に止まった。反面いつまでも暖かい日が続き、10月31日に宝達山山頂で2頭にマーキングされたほか、11月25日に白山市瀬戸で1頭が目撃されるなど、観察期間は長かった。

表1. 年別マーク数

標識年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
2005年	23	102	16	72	1,399	61	1,673
2006年	462	503	89	338	1,299	4	2,695
2007年	26	429	23	28	3,010	28	3,544
2008年	39	973	57	227	4,331	1	5,628
2009年	169	540	40	20	535	109	1,413

■マーキング状況

奥能登の珠洲や輪島では、赤石大輔さんとアサギマダラ調査隊の皆さん、砂山美里さんと西部小学校の皆さん、宮前みふ子さん、日吉芳朗・南賀子ご夫妻など地元の方が熱心に調査されるとともに、大宮正太郎さん、橘 英子さん、堀 孝治・千恵子ご夫妻が調査に訪れ成果が上がった。

宝達山周辺では、橘 英子さんが熱心にマーキングの指導を行い、堀 孝治・千恵子ご夫妻、山下恵美子、山本 尚、中井松子、宝達小学校の皆さんら大勢の方が多数マークし、砂山美里さん、宮前みふ子さんらも調査を行った。今年からマーキングを始められた山本 尚さんのマーク個体は、42頭中3頭が再観察された。

医王山周辺では、細沼 宏さんらが調査を行い、大分県の「ヒメ」マークを再観察している。能美市の海岸では、林 宏初さんが継続して定点調査を実施している。

白山周辺では、中村明男さんを中心に、尾張勝也さん、桑山尚美さん、いしかわ自然学

校の皆さんらが調査に取り組み、福島県の「デコ」マークを再観察している。

加賀市では、南出 洋さんらが海岸から刈安山にかけて調査し、長野県の「NP」マークを再観察している。

■2009年標識者情報（標識者数：81人）

越石あき子、越野邦男、岡本 修、垣内叶和子、角花 駿、角花寿雄、橘 英子、宮下大すけ、宮前みふ子、宮谷早苗、橋本貞子、金谷光男、桑山尚美、源 静子、甲 さき子、高林優奈、高林洗人、佐々木亮太郎、砂山美里子、細沼 宏、坂下普志、三野敏子、山下恵美子、山本 尚、山本ゆずか、山本りか、山本創一郎、小畠望夢、小茂尻真凜、松井正人、松田美雪、松田龍二、松尾正則、上井未紗、新出耕作、深井春雄、深井章子、水上和希、杉木正行、瀬戸弓子、政田ますみ、赤石大輔、川端のどか、川端ひかり、蔵谷和秀、大宮正太郎、大槻信子、丹保徹也、丹保捺恵、竹谷宏二、中井松子、中西清之介、中村栄太、中村明男、中本有耶、中本璃奈、長田温子、長田真穂、田辺健也、湯上百華、藤沢維朗、南出 洋、日吉芳朗、畑中ありさ、半田由美子、尾張勝也、表 瑞穂、浜木清寛、平松夕衣、平畠菜穂、北 あいら、北 ここね、堀 孝治、堀 千恵子、木村優季、木野文江、柳谷柳一、國永虎人、濱 海翔、濱 晴翔、濱 龍翔。



図1. 珠洲市笹波のスナビキソウ群落



図2. 珠洲市寺家のマーキングポイント



図3. 輪島市三ツ子浜のスナビキソウ群落



図4. 宝達山のマーキング会

■2009年標識情報（標識数：1413頭）

	標 識 地	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
1	珠洲市小泊	1						1
2	珠洲市三崎		3					3
3	珠洲市宇治	6	4					10
4	珠洲市粟津		1	1				2
5	珠洲市寺家	48	65					113
6	珠洲市狼煙	47	95					142
7	珠洲市川浦	4	100					104
8	珠洲市高屋	11	65					76
9	珠洲市笹波		6					6
10	珠洲市鰐崎		1					1
11	珠洲市馬縹		2					2
12	珠洲市大崎	3	1					4
13	珠洲市赤神	4	9					13
14	珠洲市赤島		2					2
15	珠洲市清水		1					1
16	珠洲市仁江	2	5					7
17	珠洲市山伏山			1				1
18	輪島市三ツ子浜		16					16
19	輪島市袖ヶ浜	12	116					128
20	輪島市深見		1					1
21	輪島市鉢伏山			1				1
22	志賀町鹿頭		4					4
23	志賀町赤崎	5	6					11
24	志賀町増穂浦		1					1
25	志賀町大島	5	4					9
26	志賀町甘田		1					1
27	羽咋市滝	2						2
28	宝達志水町北川尻	2						2
29	宝達志水町宝達山				6	395	72	473
	能登計	152	509	3	6	395	72	1,137
1	金沢市普正寺		1					1
2	金沢市専光寺		1					1
3	金沢市医王山		19	31				50
4	金沢市高尾					3		3
5	白山市竹松海岸	5						5
6	白山市宿の岩				1			1
7	白山市瀬戸					6	7	13
8	白山市瀬女高原		5		4	16		25
9	白山市荒谷林道			5	5	108		118
10	白山市一里野					7		7
11	白山市白山観光新道				4			4
12	能美市山口釜屋	10	1					11
13	加賀市塩屋	2	4					6
14	加賀市刈安山			1			30	31
	加賀計	17	31	37	14	140	37	276
	総 計	169	540	40	20	535	109	1,413

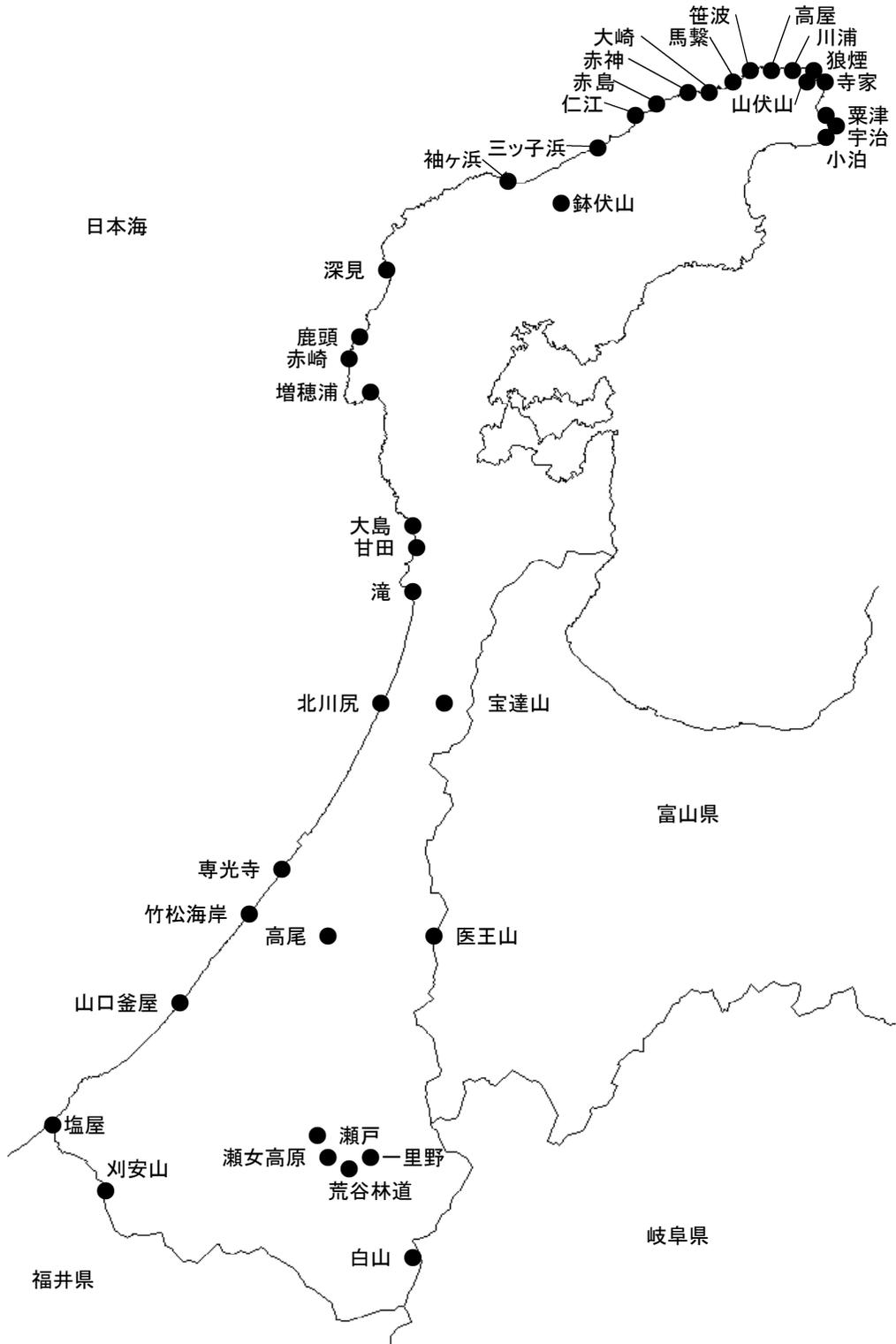


図-5. 2009年の主な標識地点

■2009年再捕獲情報（再捕獲数：31頭）

移動距離10km以上の記録

番号	標識	性別	標識日	標識地	標識者	再捕獲日	再捕獲地	再捕獲者	移動距離	移動日数
1	上五島 5/15 MG240	♂	5/15	長崎県 五島列島	野下広人	5/23	石川県 宝達志水町 北川尻	橋 英子	820	8
2	石ひよし 006	♂	5/23	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	5/27	石川県 珠洲市 寺家	砂山 美里子	42	4
3	のろし IMM021	♂	5/23	石川県 珠洲市 狼煙	松井正人	5/30	石川県 輪島市 袖ヶ浜	松井正人	41	7
4	あわず 6/3 み20	♂	6/3	石川県 珠洲市 粟津	宮前 みふ子	6/6	石川県 珠洲市 赤島	小茂尻 真凜	18	3
5	小泊 5.19 里山	♂	5/19	石川県 珠洲市 小泊	柳谷柳一	6/8	石川県 珠洲市 川浦	砂山 美里子	10	20
6	ヒメ 5/23 SRS645	♂	5/23	大分県 姫島	栗田昌裕	6/8	石川県 珠洲市 高屋	砂山 美里子	650	16
7	ヒメ 5/26 S.C129	♂	5/26	大分県 姫島	中城 信三郎	6/12	石川県 珠洲市 寺家	砂山 美里子	660	17
8	石ひよし 049	♂	6/10	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	6/12	石川県 輪島市 三ツ子浜	日吉芳朗	15	2
9	石ひよし 055	♂	6/10	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	6/12	石川県 輪島市 三ツ子浜	日吉芳朗	15	2
10	石ひよし 095	♂	6/11	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	6/12	石川県 珠洲市 川浦	砂山 美里子	39	1
11	ヒメ 5/22 SRS188	♂	5/22	大分県 姫島	栗田昌裕	6/13	石川県 珠洲市 川浦	砂山 美里子	660	22
12	ヒメ 5/25 SRS1358	♂	5/25	大分県 姫島	栗田昌裕	6/16	石川県 金沢市 医王山	細沼 宏	560	22
13	のみ 5/28 AN001	♂	5/28	石川県 能美市 山口海岸	中村明男	6/26	石川県 金沢市 内川ダム	橘	20	29
14	ノロシ 6/3 KZS14	♂	6/3	石川県 珠洲市 狼煙	堀 孝治	7/16	長野県 松本市 中山	中島佳子	160	43
15	フジ山 8/12 uno 22	♂	8/12	山梨県 鳴沢村 富士林道	宇野弘子	9/7	石川県 宝達志水町 宝達山	山下 恵美子	230	26
16	デコ 8/30 KST-6	♂	8/30	福島県 北塩原村 桧原荒砂沢山	佐々木 香織	9/11	石川県 白山市 荒谷林道	中村明男	340	12

番号	標識	性別	標識日	標識地	標識者	再捕獲日	再捕獲地	再捕獲者	移動距離	移動日数
17	ハチマン 9.2 Y. K	♂	9/2	秋田県 鹿角市 八幡平	菊池幸夫	9/21	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 千恵子	500	19
18	NP 9/13 TMS1419	♂	9/13	長野県 大町市 平中綱	増澤敏弘	9/24	石川県 宝達志水町 宝達山	杉木正行	100	11
19	ハチマン 9.2 Y.K ちえこ10	♂	9/2	秋田県 鹿角市 八幡平	菊池幸夫	9/27	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 孝治 (再々捕獲)	500	25
20	ハチマン 8.30 Y. K	♂	8/30	秋田県 鹿角市 八幡平	菊池幸夫	10/4	石川県 宝達志水町 宝達山	橘 英子	500	35
21	NP 9/17 SRS10972	♂	9/17	長野県 大町市 平中綱	栗田昌裕	10/4	石川県 加賀市 山中温泉栢野	南出 洋	140	17
22	ほうだつ 9/17 KZS 279	♂	9/17	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 孝治	10/10	京都市 伏見区 深草池ノ内町	美川 満	220	23
23	ほうだつ 9/23 山本 23	♂	9/23	石川県 宝達志水町 宝達山	山本 尚	10/10	大阪府 池田市 五月山	松本 清	250	17
24	白山 9/19 ラララ12	♂	9/19	石川県 白山市 荒谷林道	橋爪 ゆかり	10/11	大阪府 高槻市 芥川	榎田初美	180	22
25	ほうだつ 9/28 H.Y 26	♂	9/28	石川県 宝達志水町 宝達山	山本 尚	10/12	兵庫県 宝塚市 武庫川	和田佳郎	250	14
26	ほうだつ IMM 169	♂	9/21	石川県 宝達志水町 宝達山	松井正人	10/18	高知県 香美市 土佐山田町逆川	山崎三郎	450	27
27	金沢 武藤 23/Ⅹ kanazawa	♂	9/23	石川県 金沢市 石引	武藤 明	10/20	三重県 御浜町 横垣峠	児嶋 毅	300	27
28	ほうだつ 9.21 EMIKO79	♂	9/21	石川県 宝達志水町 宝達山	山下 恵美子	10/21	高知県 香南市 のいち動物公園	牛腸典代	450	30
29	ほうだつ 9/26 ちえこ22	♂	9/26	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 千恵子	10/21	三重県 御浜町 横垣峠	児嶋 毅	330	25
30	ほうだつ 9/7 山本①	♂	9/7	石川県 宝達志水町 宝達山	山本 尚	10/30	沖縄県 本部町 大嘉陽林道	長嶺邦雄	1,400	53
31	ほうだつ 9/25 EIKO 10	♀	9/25	石川県 宝達志水町 宝達山	橘 英子	12/15	沖縄県 与那国島 新川鼻人面岩	村松 稔	1,900	81

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

2008年蝶類採集（観察）しなかった報告

指 田 春 喜

本年（2008年）は、春先のギフチョウのシーズンに息子の居住する愛知県春日井市に出かけるも、4月13日は気温が低く、くもり空に惨敗。その後も週末は天候が悪く、中京地区のシーズンが終了してしまいました。4月末からの連休は、大学に日参し、当方としては珍しく仕事をした。雨の週末は標本の整理、白骨温泉ではオオイチモンジに警官騒ぎもあった。9月の国際学会（ベルギー）が気になっている間にシーズンが終わってしまった。つまり、蝶と付き合い始めて50年間になるが、初めて蝶の採集をほとんどしない1年であった。

■ 愛知県春日井市細野道樹山 (alt. 416 m) 2008年4月26日

ギフチョウ 目撃多数（採集せず）

昨夜は近くに住む息子のところ（愛知県春日井市）に泊まった。この愛知県をはじめ中京地区のギフは、“平地の普通種”という感が強く、長らくはあまり興味が湧かなかった。そんなこともあり、先の「26都府県ギフチョウ採集記録（昆虫と自然, 42(10), 27, 2007)」を整理したとき、愛知県での記録は小牧市と犬山市での2ヵ所しかなかった。「それではいけない」と、息子のところに行くのであれば腰が軽くなるカミサンと出かけてみた。急に思い立ったので、情報もなく「88ヵ所めぐり」どおりにキョンプ場から道樹山に登ってみた。悪い感は当たるものである。山頂付近に次から次へと上がってくる個体は多いもののどれもボロボロであり、三角紙に入れるのがはばかられた。やはりかなり遅かった。来年以降に出直しじゃ！！

■ 長野県松本市白骨温泉 2008年7月20日

オオイチモンジ 1♀（目撃）

天候に恵まれなかったが、いつものポイントで目撃できた。それにしてもずいぶん樹が伸びてしまい、観察が難しくなってしまった。この白骨では、このオオイチモンジ採集に対して、パトカーが出動したなど、いやなことずいぶん聞くようになった。地元の「森林組合」なる男の目もあり、早々に退散。

《さしだ はるき 〒920-0931 金沢市兼六元町 11-27》

表紙のむし -ウスバシロチョウ-

茅葺きの陰から何かが飛び出した。トンボのように羽が光って見えたが、フワリと飛んでいる。ネットに入れると羽が透けていて何だろうと思ったが、触角はチョウのようだった。金沢から茅葺き屋根は消えてしまったが、ウスバシロチョウは今も同じ所を舞っている。

松井正人

金沢市における近年のオオムラサキ発生動向

浅野直樹

オオムラサキは、石川県の加賀市から津幡町にかけて里山の落葉広葉樹林に広く発生していたが、近年の情報が大変少なく、調査する必要があると思われた。そこで、2010年12月に越冬幼虫の調査を行ったので報告する。また、同時に見出されたゴマダラチョウの越冬幼虫についても報告する。

■オオムラサキ

2010年12月10日	石川県金沢市小菱池	1 幼	浅野直樹
2010年12月10日	石川県金沢市中山	3 幼	浅野直樹
2010年12月18日	石川県金沢市中戸	4 幼	浅野直樹

■ゴマダラチョウ

2010年12月10日	石川県金沢市小菱池	7 幼	浅野直樹
2010年12月10日	石川県金沢市中山	9 幼	浅野直樹
2010年12月18日	石川県金沢市中戸	11 幼	浅野直樹

今回は、金沢市で調査したが、里山の落葉広葉樹林は人手が入らなくなり放置され、生息環境は悪化しているため、今後さらに広範囲なオオムラサキ発生調査の必要性が感じられた。

《浅野直樹 〒920-0942 金沢市小立野2-27-7》

威嚇音を発したコカマキリ

松井正人

晴れ上がった天気の良い正午頃に、路上を歩いていたコカマキリを見付け、つまんだところ、威嚇と思われる音を出した。コカマキリは、前翅を持ち上げ後翅を広げていたので、後翅と腹側部をこすり合わせて音を出したと思われる。このような行動は、オオカマキリやウスバカマキリでも観察されるらしい（岡田、2001）。

2010年11月13日 金沢市卯辰町 1 頭目撃 松井正人

《参考文献》

岡田正哉（2001）昆虫ハンターカマキリのすべて. 63pp. トンボ出版.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

会員の動き・しゃばの動き

■春探し調査隊は不調

スギ花粉に阻まれ、2月から出動していた隊員は頭がかすんで寝込んでしまい、残る隊員は過去最高の飛散に恐れおののいたか出動せず。3月27日現在、春姫は見つからない。

■春の園で華麗な舞

4月1日、遅かった春の幕がようやく上がり、各地で華麗な舞のお披露目があった。兼六園の桜は、初舞台からおよそ10日で開花するが、今年の開花は8日と予想されているので、観客のいないうちに幕が上がっていたのかもしれない。

■キイチゴの白い花

4月16日、残雪の多さに惑わされてしまった。兼六園のサクラが満開のニュースに山に出かけると、キイチゴの白い花が風に揺れ、クヌギやアベマキは花穂を垂らしている。いつの間にと思ったが、フィールドに出ていなかった事が明るみとなった。

■ふたつの季節

山には残雪がぎっしり残り、今年は2週間ほど季節が遅い。気分は春になったばかりだったが、街を歩くと既に初夏。和菓子屋の店先からは「さくら餅」が消え「かしわ餅」が並んでいた。自然の季節は、いつになったら人の季節に追いつくだろうか。

■ギフチョウはまだ卵

うだるような初夏を思わせる日があったかと思うと、3月並の気温に下がったりと、気温の上下が甚だしい。金沢市内でも標高が低くギフチョウの発生が早い場所に出か

けてみたが、4月29日現在、見つかるのは卵ばかりで、幼虫は見つからなかった。

■シラキトビナナフシの不思議

昨年、シラキが二度の冬を越して孵化したことが話題に上がっていたが、今年はなんと三度の冬を越した卵が孵化したらしい。シラキに魅せられ、大切な卵を丁寧に育ててきた結果があらわれたと思われる。同じくシラキを飼育しているが、最初の夏までに孵化しなかった卵は、捨てていた。

■金沢でヒメフタオチョウ

2009年2月に金沢市内で生きたヒメフタオが採集されていた事が、5月5日の新聞に掲載された。そういえば1996年12月には、ヨーロッパコヒオドシも採集されているが、どうして日本に居ない種が、しかも冬の金沢で採集されるのだろうか。

■鳥の巣からアカマダラハナムグリ

猛禽類の巣からアカマダラが見つかった話は聞いていたが、コウノトリやカワウの巣からも見つかっている。こうなると、何でも有りで次なるはカラスかもしれない。電力会社では相当数を撤去しているので、相談してみる手はあるかも。

■再び日本海沖合でミズカマキリ

2007年に、日本海のほぼ中央で3頭のミズカマキリが採集されたが、2010年8月には松前半島沖合約200kmで、集魚灯の周囲を飛翔するミズカマキリが観察され採集されていた。どちらも、石川県の調査船「白山丸」によるものだが、次はマルコやシャープが見つかるかもしれない。

■トゲナナフシが孵化

これまで、何度挑戦しても孵化しなかったトゲナナだったが、今年ようやく孵化にこぎつけた。卵期は1年以上で、自然界では2回の冬を越さないと孵化しない計算になるが、飼育下では成虫越冬するので、春に産まれた卵が1年後の春に孵化してきた。

■ 例会の記録 ■

4月7日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、小幡氏の撮影講座。好みの昆虫写真を採るにはカメラもレンズもカスタマイズが必要。まずは、安いレンズを分解して目的に合わせて改造し、小物は上手に利用する。お気に入りの写真が撮れたら、翔の表紙写真に使いたい。

その他の話題は、ギフは飛びだしたが山には雪がいっぱい、崖の上からシルビアを見ていたら飛込自殺と間違われた、4月号表紙のヤマトは毛むくじゃら、これからオオシモフリスズメとイボタガが発生する、シャープやマルコは指定すべきだったの

か、翔表紙掲載種の年間予定の発表、などなど。

参加は、細沼、浅地、竹谷、富沢、小幡、浅野、井村、松井、勝海の9人。

■ 例会の記録 ■

5月12日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、浅地氏が自宅の庭で越冬していたツマグロヒョウモンを報告。5月2日に終齢幼虫を観察した後に見失ったが、9日になって洗濯ばさみで蛹化しているのを発見した。例年では、成虫が飛んでいる頃なのに、今年は遅い。

その他の話題は、5月20日からアサギの飛来調査、CICADA全巻を大串先生宅で拝見、セミ採りを始めた福富氏、ウスバカマキリを昆虫館で飼育、アカジマトラの材採り、ヤマハギからヨコヤマ、ナナフシの不思議、ナウシカの虫笛、などなど。

参加は、浅地、松井、長田、大宮、井村、福富の6人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

松井正人：2009年石川県のアサギマダラマーキング概要	1
指田春喜：2008年蝶類採集（観察）しなかった報告	7
浅野直樹：金沢市における近年のオオムラサキ発生動向	8
松井正人：威嚇音を発したココマキリ	8
編集部：会員の動き・しゃばの動き	9

翔 210号

Tobu 2011年6月10日発行
百万石蝶談会
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

